

NPO法人 丹南市民
自治研究センター講演会
「米軍基地と沖縄の自治」
を開催

戦後72年 基地の集中、自治と主権の侵害など今も続く
琉球大学教授「島袋 純」氏、沖縄にも憲法を正しく現実化すべきと講演

福井県地方自治研究センターは、NPO法人丹南市民自治研究センターと共同で、9月20日に越前市福祉健康センターにおいて「米軍基地と沖縄の自治」をテーマとした講演会を開催しました。

戦後72年を過ぎた今、新たに「辺野古」に基地建設が進められています。日本国土面積の僅か0.6%に過ぎない沖縄に、在日米軍基地の約70%が集中している実態など、改めて、その現実と県民の暮らしとの関係を学ぶ講演会として企画。110名が参加しました。

講師の琉球大学教授「島袋純」氏は、戦後の沖縄の国際条約の間



題点を紹介しながら、今日の政治状況の中での「立憲主義の重要性」を強調しました。
(講演内容の主なものは以下のとおり)

●沖縄だけが米軍の施政権下におかれ、「立法権も、行政権（警察権を含む）も、裁判権も米軍が持っている。好きなように犯罪を作り、好きなように逮捕し、好きなように有罪化（場合によっては無罪とする）できる状況である。その傾向が今も米軍基地と沖縄の自治の関係では変わらず残っている。

●沖縄の住民がみずからの意思で基地のために土地を提供した事実は一度もない。今回の辺野古基地建設も県民の意思、沖縄の自治を無視して政府が強行している。「国民主権、基本的人権の尊重、平和主義」の日本国憲法が沖縄には正しく現実化されていない。

●沖縄の米軍海兵隊は、その機能からも沖縄にいる理由が希薄だ。戦後の本土での反基地闘争により、本土の基地は縮小されたが、その部分が沖縄にしわ寄せされ集中された経緯がある。海兵隊は日本本土から沖縄へ移されたものである。

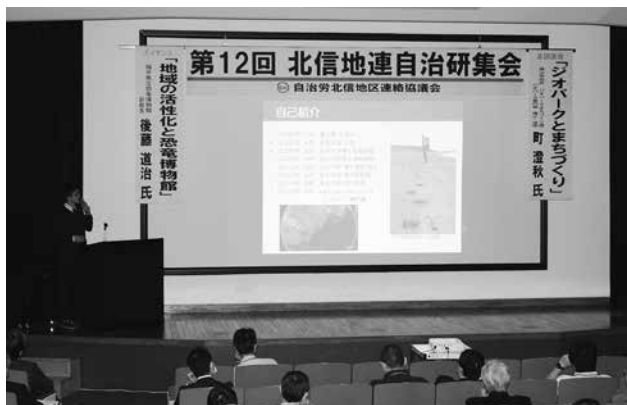


●また、今の私たちに必要なのは、人権、主権在民、平和主義、社会正義、民主主義を共通の価値とする思想を共有する次のような運動ではないか。
①立憲主義的な価値を共有し守っていく連帯
②全沖縄的な連帯、全日本的な連帯
③立憲主義的価値を共有する個々の市民の連帯
④連帯しつつ運動、運動しつつ連帯。

第12回自治労北信地連 自治研集会を開催

「歴史と地域資源を活かしたまちづくり」をテーマに、111名が参加

12月8日と9日の二日間、勝山市で「第12回自治労北信地連自治研集会」が開催され、北信地連（長野・富山・石川・福井）内の自治体職員や各県自治研センターの関係者など111名が参加しました。（主催：自治労北信地区連絡協議会）



集会は、「歴史と地域資源を活かしたまちづくりを」をテーマに、一日目は勝山市役所 ジオパークまちづくり課 ジオパーク専門員 博士・理学 町 澄秋 氏による「ジオパークとまちづくり」の講演を聞いた後、福井県立恐竜博物館 副館長 後藤 道治 氏による「地域の活性化と恐竜博物館」と題したガイダンスを受けました。

その後、施設見学として、「福井県立恐竜博物館」を見学しました。講演で町氏は、ジオパークの概要や意義について説明。「ジオパークの活動とは、地域の遺産に学術的な担保を与え、地域の研究を推進していく。そして、そのような取り組みを通して、地域の魅力を知り、守り、発信し、さらに、多くの人たちがその魅力を知ることと、持続可能な地域振興につなげていく活動である」と述べました。また、「勝山市では恐竜化石が見つかる。それは素晴らしいことだが、地元の人たちは、それを魅力に感じていない。彼らがその魅力に気づくことで、その価値はさらに高まる」とも語りました。最後に、「ジオパークでなくても

地域資源や地元の良さを知っていくことが大切。そして、自分たちの地域を知ったら、ぜひ他の地域も訪れてほしい。比較すること在地元の良さに気づく」と締めくくりました。

また、ガイダンスでは、恐竜博物館の概要や入館者数の推移などを、図表を交えながら説明。会場に訪れた参加者は皆、熱心に聞き入っていました。

2日目は、5つのグループに分かれて分科会が行われました（各分科会のテーマについては次表の

◆各分科会のテーマ

第1分科会	始めよう自治研！
第2分科会	人権・多文化共生（ダイバーシティ）
第3分科会	移住・定住（I J Uターン）
第4分科会	再生可能エネルギー
第5分科会	歴史と地域資源を活かしたまちづくり 【フィールドワーク】



分科会で意見を交わす参加者

とおり）。第1～4分科会では、それぞれのテーマに沿った意見交換がなされ、みずからの仕事のあり方を見つめなおす良い機会となりました。第5分科会では、フィールドワークとして、「白山平 泉寺歴史探遊館まほろば」、「はたや記念館ゆめおれ勝山」の2箇所を見学し、勝山市の歴史や自然、文化を肌で感じとりました。全体を振り返り、参加者からは「他の自治体の取り組みを聞けて参考になった」「今後の仕事に生かせるテーマが多くあった」などの意見が出されました。